## 耕作放棄地解消活動

第7回 耕作放棄地発生防止· 解消活動表彰事業

上位10組織の概要





この事例集は、平成26年度に実施した第7回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業に全国から応募された組織のなかで、都道府県選考を経て、中央審査委員会における厳正かつ慎重な審査の結果、農林水産大臣賞、農村振興局長賞、全国農業会議所会長特別賞、全国農業会議所会長賞に入賞した上位10組織の概要をまとめたものです



## 静岡県島田市農業委員会

農地相談員設置など農業委員会の活動体制を強化した上で、担い手(市内3農業法人)への耕作放棄地を含む農地のあっせん、地権者交渉、円滑な権利設定、国交付金活用等の支援活動を進めた。さらに、農業委員自らによる耕作放棄地を有効活用した市民農園の開設、山里ウォーキングコースづくり、食農体験など、多様な取り組みを展開し、30.7haの耕作放棄地を解消した。



# 農村振興局長賞

## 株式会社 三窪建設

地元建設業者が本業の受注減もあり、地域の農地荒廃を見かね、農業に本格的に参入した事例。耕作放棄地のみを借り受け、地権者探しから借り入れ交渉まで自ら行い、借り受けた農地を復元し規模拡大し18.5haの耕作放棄地を解消した。耕作放棄地のうち8割は自前の予算で復元。自社製の良質堆肥を投入した土づくりや技術習得にも熱心に取り組む。







### 岩手県久慈市農業委員会

平成17年より農業委員会内に「遊休農地解消事業実行委員会」を立ち上げ、組織的・継続的に遊休農地解消活動に取り組んだ。作付作物の選定、作業計画の策定を行い、農業委員全員が何らかの作業に関わる活動を実施し、12.95haの遊休農地を解消した。解消した農地は、担い手への集積や食農体験、美しい景観づくりに結びつけている。





## 一般社団法人 月誉平栗の里

多様な賛同者と地権者(構成員)の主導権の確保のため、地権者全員の同意による集団的土地利用の集落営農体制を確立。これにより、地域振興作物であるクリの集団的・効率的な栽培を可能にし、4hqの耕作放棄地を解消した。月誉平栗の里に基金を拠出する地元の菓子製造販売会社と連携しクリの販路も確保している。

#### 長野県飯島町





#### 栃木県鹿沼市農業委員会

年1回、市農政課と市農業公社と連携し「農地相談会」を開催。農地の出し手と受け手の意向を把握し、条件の合った農地を利用権設定に結びつけた。平成25年からは農業委員全員参加による「農地再

生プロジェクト"絆"」を立ち上げ、面積規模の大きい耕作放棄地に景観づくりも兼ねてソ バを栽培するなど、5.6hqの耕作放棄地を解消した。





#### いるま野農業協同組合

埼玉県川越市、 たころぎわし つるがしまし 所沢市、鶴ヶ島市等

新規就農者の育成を目的とする「いるま地域明日の農業担い手育成塾」において、模擬経営を行う研修農地に耕作放棄地をあっせん。 塾生が研修修了後に独立する際には経営農地として引き継がれるた

め、塾生の増加とともに0.8haの遊休農地の解消と9.3haの発生防止が図られた。





#### 新潟県新潟市西区農業委員会

平成21年より農業委員会、JA、農業共済組合、地域振興局で「西区耕作放棄地解消対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、国や市の補助事業活用による解消や農地パトロールと併せた草刈り指導を働

きかけ。平成24年から、農業委員会HP内に「西区農地情報提供コーナー:チャレンジアグリ」を整備(耕作放棄地等の農地貸借情報を航空写真などで閲覧)し、問い合わせに対応するなど、35.69haの耕作放棄地を解消した。





#### 京都府京田辺市農業委員会

農業委員会とJAで「京田辺茶園バンク」を発足し、地域の担い手塾生の実習用圃場や独立後の茶園をあっせんし、荒廃茶園の未然防止と解消に貢献。耕作放棄地を含む貸し付け希望農地をあっせんす

る「京田辺市空き農地情報登録制度」と保全管理を委託できる「京田辺市農地耕うん作業受託制度」も創設。また、モデル圃場づくりと解消PRを兼ねて「レモンプロジェクト」を始動するなど、1.92haの耕作放棄地を解消した。





#### \* タラック 多度津オリーブ部会

た どっちょう 香川県多度津町

地域特産物の価格下落等により、新規導入作物として栽培経験者が地域にいないオリープ栽培に挑戦した。農業改良普及センターの協力を得て研修等を重ねた結果、平成21年には生産者で農協部会の

「多度津オリーブ部会」を設立。再生した耕作放棄地を実証圃などとして活用し、5.7haを解消した。加工業者と協働し、品質研究をはじめ、買い入れ価格や加工品の検証まで行っている。





#### 沖縄県うるま市農業委員会

管内全域農地を事務局が1筆ごとに調査後、農業委員が担当地区を 再調査するなど綿密な利用状況調査を実施し、正確な耕作放棄地の 実態把握に努める。耕作放棄地所有者への意向調査(戸別訪問)と

ともに、解消事業を働きかけた。さらに、再生作業解消啓発横断幕の設置による農業委員会活動の「見える化」や農業委員会による再生農地での食農体験を実施することによって50hgの耕作放棄地を解消した。



#### 全国農業新聞賞

千葉県	いのうか が ま まい 伊能歌舞伎米研究会	奈良県	大和郡山市農業委員会
神奈川県	鎌倉市農業委員会	鳥取県	琴浦町農業委員会
富山県	富山市農業委員会	熊本県	人吉市農業委員会 (ひとよし「食と農の絆づくり」 プロジェクト会議)
福井県	の と の さとやま <b>能登野里山営農組合</b>	鹿児島県	南九州市農業委員会
兵庫県	<sub>しかたひがし</sub> 農事組合法人志方東営農組合		

#### 審査経過報告

- 1. 平成26年2月21日=事業実施要領の決定
- 2. 平成 26 年 4 月 8 日から = 募集の開始
- 3. 平成 26 年 8 月 29 日 = 応募締め切り 都道府県選考委員会における選考を経て、18 府県農業会議から 19 組織の推薦
- 4. 平成 26 年 10 月 30 日 = 応募組織の概要説明(中 央審査委員会の開催)
- 5. 平成 26年11月6日=小委員会委員による書類 審査の実施 全国農業会議所会長賞候補となる表彰審査対 象・6組織、上位審査対象(農林水産大臣賞、農 村振興局長賞、全国農業会議所会長特別賞・2 組織)を選定
- 6. 平成 26 年 12 月~平成 27 年 1 月 = 小委員会委 員、事務局による現地審査
- 7. 平成 27 年 2 月 25 日 = 小委員会による各賞候補 の推薦
- 8. 平成 27 年 2 月 25 日 = 中央審査委員会による各 賞の決定
- 9. 平成 27 年 5 月 28 日 = 入賞組織の表彰式(東京・ 日比谷公会堂)

#### 耕作放棄地解消活動事例集 Vol.7 のご案内



27-08 A4 判 · 32 頁 定価 515 円 (本体 477 円+税)

本リーフレットに掲載している第7回耕作放棄地発 生防止・解消活動表彰事業の上位入賞組織の活動事 例を紹介したオールカラーの冊子。

耕作放棄地対策のノウハウや励みになるエピソード を余すところなく掲載しています。

- ◎発行……全国農業会議所
- ○お申し込みは……都道府県農業会議へ



編集·発行:**全国農業会議所**